



くすのき

稲敷市立あずま西小学校
学校だより

NO.8

令和7年11月17日発行
文責：浅野 規子

市制施行20周年記念「歌って踊れる音楽鑑賞会」

11月も半ばを過ぎ、いよいよ冬の足音が聞こえてきました。保護者の皆様におかれましては、10月11日（土）に実施したPTA親子奉仕作業、10月25日（土）に実施された運動会におきまして多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、11月12日（火）に、つくば市で活動されている楽団「Y.T.B.E.」による、歌って踊れる音楽鑑賞会が行われました。この音楽会は、市制施行20周年記念事業として、市の教育研究会と教育委員会が企画し、「未来を担う子どもたちに本物の音楽を体験してもらいたい」という思いから開催されました。トランペットやチューバなど、普段目にする事のない楽器の演奏を子どもたちは目を輝かせながら聴いていました。また、軽快な音楽の演奏に乗って一緒に踊りながら、全身で音楽を楽しんでいました。5・6年生は学級閉鎖中でしたので、別日に実施できるよう調整していただいています。



迫力ある演奏を間近で



児童の目線に合わせてのお話



楽器の紹介



楽器のすぐ近くで音色を聴かせてもらう



「ジャンボリミッキー」のダンス

第3回学校運営協議会より

11月7日（金）に、第3回学校運営協議会が開かれました。今回は、12月8日（月）午後実施する地域との協働活動「いなしきの昔と今」について協議しました。当日は、学校運営協議会委員さんや地域のボランティアの方に、稲敷の昔話の読み聞かせをしていただいたり、一緒に昔遊びをしていただいたりする予定です。

尚、12月8日（月）は、市制施行20周年冠事業として、午前中は影絵劇鑑賞会、午後は「いなしきの昔と今」を行います。日程は次のようになります。

10：30～12：00 影絵劇鑑賞会「あらしのよるに」（影絵劇団かしの木）

13：00～13：10 「いなしきの昔と今」始まりの会

13：15～13：40 「稲敷で農業をすること」のお話（地域おこし協力隊 高木 佑恭さん）

13：50～14：10 「稲敷の昔話」の読み聞かせ

14：10～14：40 昔遊び体験

14：50～15：05 終わりの会

ONEチャレンジ 紹介!

11月15日(土)、江戸崎中央公民館にて、稲敷市青少年主張大会が行われました。当日は、5年生の坂本陽茉莉さんが主張発表を行いました。練習の成果を発揮して、堂々と発表をすることができました。陽茉莉さんの主張文を紹介します。



言葉づかいの世界

突然ですが、皆さんは「言葉づかい」についてじっくりと考えたことがありますか？私は最近、言葉づかいがもつ力に気づき、その奥深さに驚いています。きっかけはほんのささいな、でも、私にとってはとても大切な出来事でした。

先日、休み時間に友達とサッカーをして遊んでいました。私はサッカーが得意な方ではありませんが、ワイワイ楽しく遊んでいました。そのとき、私がボールをけり損ねてしまい、ボールは思いもよらない方向に飛んでいってしまいました。思わず「あー、ごめん！」と叫びました。ミスをしてしまったことと、みんなの楽しい空気を壊してしまったことに、私は心の中で「どうしよう」とあせっていました。すると、友達の一人がかけ寄ってきて、言いました。「大丈夫！ナイスチャレンジ！切り替えて、もう1回やろう！」と、笑顔で私の肩をポンとたたいてくれたのです。

その言葉を聞いたしゅん間、私の心の中の不安な気持ちはすーっと消えていきました。私は自分のミスを責めるのではなく、次に向けて前向きな気持ちになることができました。たった一言の言葉だったのに、その言葉には、私を安心させ、勇気づけてくれる不思議な力が宿っているように感じました。もし、あのとき友達が「何やってるんだよ。」とか、「ちゃんと見てよ。」と怒っていたら、私はきっと悲しくなり、その後のプレーもできなくなっていたと思います。でも、友達が選んでくれた言葉は、私を温かい気持ちにしてくれました。

この経験を通して、私は言葉がもつ不思議な力に気づきました。優しい言葉は、相手を安心させ、自分自身の心も温かくしてくれます。反対に、乱暴な言葉は、相手を傷つけ、けんかの原因になってしまいます。言葉は、人と人をつなぐ大切なツールであると同時に、使い方をまちがえると、人間関係をこわしてしまうこともあるのです。

私は、言葉づかいは周りの人だけでなく、自分の心にも大きな影響を与えるものだと考えています。私たちがふだん使っている言葉は、いつの間にか私たちの性格を作り、私たちの「世界」を形づくっているのではないのでしょうか。温かい言葉を使えば、自分の心も温かくなり、周りの世界も優しく見えてきます。逆に、冷たい言葉を使えば、自分の心も冷たくなり、周りの世界がいやなものに感じてしまうかもしれません。

今、世の中では、心ない言葉が飛びかい、人とのコミュニケーションが難しくなっているように感じます。インターネットやSNSでは、顔の見えない相手に簡単に冷たい言葉を投げかけてしまうことも少なくありません。しかし、その言葉一つ一つが、誰かを傷つけているかもしれないということを忘れてはいけません。

だからこそ、私は、相手の気持ちを考えて、優しい言葉を選びたいです。私一人の力は小さいかもしれませんが、私から始まる優しさの輪が、少しずつ広がっていくと信じています。そして、この思いを、家族だけでなく、学校の友達や、これから出会う全ての人に伝えていきたいです。言葉づかいに気をつけることで、皆さんの周りの世界が、もっと温かく、優しくなることを心から願っています。